

.....

午前10時55分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き一般質問を行います。

次に、3番議員の一般質問を許します。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） おはようございます。

3番奈良聡子、通告に基づき一般質問を行います。

傍聴の皆様方におかれましては、朝早くから足を運んでいただき、ありがとうございます。議会の方に関心を持っていただき、うれしく思います。

では最初に、学校適正化検討委員会と学校の将来像の検討について伺います。

少子化の進行により児童生徒数が減少し、学校が小規模化しています。この現状を踏まえ、町は今年度、学校適正化検討委員会を設置し、去る5月24日に第1回会議が開催されました。5月30日の全員協議会で提示されました資料によりますと、令和6年度現在の児童生徒数は、八森小学校68人、峰浜小学校72人、八峰中学校94人、合わせて234人となっています。これが6年後の令和12年度には、八森小学校45人、峰浜小学校52人、八峰中学校72人、合わせて169人になると予測しています。6年間で65人の減ですから、この間、1年に約10人ずつ減っていくことになります。予測どおりに推移するならば、13年後の令和19年度には町内の児童生徒数は100人を切ってしまうでしょう。非常に深刻な状況と言わざるを得ません。

さて、第1回の会議では、「予想以上に進んでいる少子化について、町民への周知や理解がなされていない」「子どもが少ないため、PTA活動やスポーツ少年団活動における役職の掛け持ち等で保護者の負担が大きくなっている」といった現状認識や、「統合は必要、あるいは進めるべき」「町民の意見を聞く機会を設けてほしい」などの意見が出されたという報告がありました。さらに踏み込んで、統合後の学校の検討事項に関する意見もあったようです。学校適正化検討委員会は、1年間の設置期間で3回の会議を開催し、今月下旬から町民の意見を文書やメールで受け付けるとしています。

そこで2点伺います。

1、会議の概要と町民の意見は公開されるのでしょうか。また、その際はどのような方法で公開するのでしょうか。

今年度中に検討委員会から、「規模と配置の適正化に関する基本的な考え方」と「適正化に向けた具体的な方策」について答申が示されます。それを受け、来年度以降はど

ういう会議体や手順で学校の将来像を検討していくのでしょうか。

続きまして、猫の飼い主への指導と糞尿等への対策について伺います。

動物を飼うということは、言うまでもなくその命に対して責任を持つということであり、飼い主には動物の健康に気を配り、清潔で快適な住環境を与え、最後まで面倒を見る義務があります。特に猫の場合は多産であるため、どんどん繁殖しますので、増えすぎを防ぎ、猫と飼い主が幸せに暮らしていくためにも、ある程度の月齢になったら去勢・あるいは不妊手術を施す必要があります。そのことによって発情期のストレスが軽減し、家猫として穏やかに過ごすことができるようになります。しかし、飼い猫に去勢や不妊手術を受けさせなかったり、何らかの事情で猫の世話を中断したことなどにより繁殖しすぎた結果、飼育を放棄したり、あるいは多頭飼いから飼育崩壊へと至った事例が町内でも発生しています。飼い猫だった猫が行き場を失い野生化し、よその宅地に侵入して排泄した糞尿の処理や臭い、鳴き声等に長年悩まされている住民もいます。ある人は、「応急処置として猫寄せの薬をまいてみたが、あまり効果はなかった。でも薬代は結構かかっている」と嘆いていました。またある人は、「猫がうるさくて寝られない。飼育放棄により野生化した猫については、全部捕獲して持って行ってほしい」と憤まんやるかたない様子でした。このように周辺の衛生環境が悪化するだけでなく、生活の質の低下やストレスによる健康問題を招く恐れもあります。

私自身、猫を一匹飼っており、罪のない猫が近隣住民に疎まれている現状には猫好きの一人として胸が痛み、何ともやるせない気持ちになってしまいます。飼い主への指導とともに、糞尿等に悩む住民の精神的・経済的負担をなくすためにも、対策が必要ではないでしょうか。町長の考えを伺います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの3番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。

堀内町長。

○町長（堀内満也君） 奈良議員のご質問にお答えいたします。

私からは、猫の飼い主への指導と糞尿等への対策について答弁させていただきます。

猫の糞尿被害や過剰繁殖につきましては、町に対し以前から苦情や相談が寄せられており、こうした問題を放置することは町内の生活環境の悪化にも繋がるため、町では、これまでも保健所と連携しながら、飼い主への適切な飼育方法等の指導を行ってきております。

こうした中、昨年度、町内において発生しました猫の多頭飼いによる飼育崩壊の苦情

に対し、保健所や動物愛護ボランティア団体と連携し、「公益財団法人どうぶつ基金」の財源を利用した不妊手術や里親探しを行ったところであります。

本来であれば、ペットを飼う上で、餌やりや不妊手術などは飼い主が責任を持って行うことが基本であると私は考えております。また、野良猫等への無責任な餌やりは、食べ残しや排泄物の始末など生活環境を損ねる可能性があり、住民からの苦情にも繋がるものと考えます。

このため、町ではペット飼育の基本的なルールをホームページや広報誌に掲載し、ペットが近隣トラブルの原因にならないよう啓発に努めてまいります。

一方、自治体による猫の不妊手術に対する助成制度につきましては、町の厳しい財政状況を踏まえると早急な対応は難しいと考えますが、県内において助成制度のある自治体があることから、その取り組み等を参考にしながら支援のあり方を研究してまいりたいと考えております。

私からは以上であります。

○議長（皆川鉄也君） 鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 私からは、奈良議員の1つ目の質問、学校適正化検討委員会と学校の将来像検討についてお答えいたします。

教育委員会では、出生数の減少や少子化の加速により小・中学校の児童生徒数が今後とも減少傾向にあることから、八峰町学校適正化検討委員会を設置し、小・中学校の適正規模及び適正配置のあり方について諮問しました。

第1回検討委員会は5月24日に開催し、会議では「今後の児童生徒数の推移を見ると、できるだけ早く小学校の統合を進めるべきである」「小学校だけでなく中学校も含めた学校のあり方について検討すべきである」「少子化が進んでいるが、町民への周知や理解がなされていない」といった意見が出されたことから、6月25日発行の広報に児童生徒数の予想推移や検討委員会の主なご意見を掲載し、町民の皆様から声をお聞きすることといたしました。

ご質問の会議概要につきましては、その都度、町のホームページへの掲載を予定しており、準備ができ次第、公開してまいりたいと考えております。

また、町民の皆さんからいただいた意見につきましては、検討委員会にお示ししながら今後の方向性を探る参考とさせていただくこととしており、公開につきましては検討委員会の中で協議してまいります。

2点目の答申が出された後の手順につきましては、仮に適正化を図るべきとの答申が出された場合には、前回の八峰中学校や峰浜小学校統合時における手順により進めてまいります。

具体的には、答申を受けた後、学校再編検討委員会において統合を含めた再編に向けた具体的な方策や適正な校舎の配置などを検討していただき、その後は、統合校建設改修検討会や町民説明会、統合協議会等を行ってまいります。

なお、適正化検討委員会では「統合を早急に進めるべき」との意見もありますので、答申の内容や時期にもよりますが、早ければ令和6年度中にも再編検討委員会を設置することも考えられます。

いずれにいたしましても、第2回適正化検討委員会を9月下旬頃に開催し、広報に対する町民の皆さんの意見を検討委員会に示しながら答申に向けて協議する予定となっており、町の子どもが生きる力を育む上で、よりよい教育環境をつくるため、小・中学校の適正化に向けた具体的な方策について検討してまいります。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） 3番議員、再質問ありませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） では1問目の再質問いたします。

全部で3回の会議ということでしたが、この5月24日の会議を含めて3回ということではよろしいですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 奈良議員の質問にお答えいたします。

3回を予定しております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ちょっと休憩します。

午前11時09分 休 憩

.....
午前11時09分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 再開いたします。

○教育長（鈴木洋一君） 奈良議員の質問にお答えいたします。

前回の会議も含めまして3回を予定しております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） ということは、あと2回の会議である程度のその方向性を、協議して方向性を決めるというところまで行くということですよね、あと2回の会議で。

○教育長（鈴木洋一君） はい。

○3番（奈良聡子さん） 設置期間が1年で、会議が3回はちょっと少ないかなと最初思ったんですけども、ただこのせっぱ詰まった状況を考えますと、なるべく早く結論を出して次の段階に行った方がいいなと今は私も思っております。

で、この会議の概要については、その都度ホームページで公開すると。で、広報にもその都度、まあ第1回の会議の内容は今度の、今月ですか、の広報で公開する。で、2回目、3回目も広報とホームページで公開するという事でよろしいでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 奈良議員の質問にお答えいたします。

町民の皆さんにしっかりとこう理解していただくという上で、会議ごとに公開してまいりたいと思います。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） その町民の意見については、その検討委員会の方に寄せられた意見を示して、公開についてもその検討委員会の方で協議してもらって決めるということですよね。うなずいてくれればいいです。はい、はい、分かりました。

それでですね、その2回目、第2段階からの協議についてですけども、やっぱりなるべく広範な町民の意見を募った方がいいと思うんですね。急がなければなりませんけども、プロセスは丁寧に進めていただきたいというのが私の考えです。

それで、この「P e n」というこの雑誌があるんですけども、これにですね「未来をつくる26校のチャレンジ 新しい学校」という特集記事が載っておりますで、これファガスと峰栄館の図書コーナーの方に置いてますでしょうか。あれば読んでいただきたいんですけど、なければお貸ししますんで是非読んでいただきたいんですけども、この特集記事の中にですね、五城目小学校が載ってるんです。ここに五城目小学校と、あと昨年行政視察で訪れました神山まると高専も載っております。ついでに申しますと、国際教養大学のあのすばらしい図書館の写真も載っております。この中でですね、五城目小学校が新しい学校に必要な5つのキーワードというのがこの雑誌に載っております

て、そのキーワードの1つでありますローカリティ、地域との接続、これを実践する学校として紹介されております。徳島県神山町の神山まると高専の方は、サスティ、サステ、あれ、英語忘れてしまったな。サステナビリティ、サステナブルな思考を育む学校として紹介されております。私、この記事を読んで興味がわいて、五城目町のある議員さんを介して、先月、五城目小学校を視察にまいりました。町内唯一の小学校となった五城目小学校は、2021年に現在の場所に移転しました。移転して新築されましたが、改築計画は教育委員会主催の全町民参加型のスクールトークというワークショップから始まりました。このワークショップですけれども、2017年から3年間にわたって10回のワークショップを重ねて計画が進められました。そして最終的に、まああらゆる垣根を越えるという意味で「越える学校」というコンセプトに決まり、地域に開かれた全く新しい小学校に生まれ変わったわけです。

当町においては、学校の配置や配置の適正化について、今、正に検討が始まったばかりでありますけれども、これを機にですね公教育として最大限の質の向上を目指し、地域に開かれた学校や子どもの学びの多様性の担保など幅広い議論が展開されることを期待しております。適正化検討委員会の次の段階からはですね、この五城目町のスクールトークのように、より多くの住民を意見交換の場に参加させ、多様な視点を取り入れて子どもの未来や可能性を大きく開いていける学校づくりを考えていくことが大事ではないかと思いますが、教育長のご見解をお伺いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 奈良議員の質問にお答えいたします。

この後、答申の結果を受けて、もし前に進みなさいという答申が出た場合には学校再編検討委員会が開かれます。この中で、じゃあ具体的にどういう学校が八峰町には合っているのか、どういう場所が合っているのかっていうことを具体的にこう答申していただいて進めてまいりたいと思います。また、住民の皆さんには住民説明会ということが今までのこう学校統合で八峰町で進めてきた形なんです、今の奈良議員のご意見も参考にしながら、説明の内容または意見を聞く内容をこれから検討してまいりたいと思います。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） この学校の場所の配置という問題はですね、三種町なんかの例

を見て分かるとおり、やはりそうなるといういろいろ地域のエゴみたいなのが出てくるわけですが、急速に進行してるこの少子化の現状を鑑みて、学校だけじゃなくて既存のその教育施設の統合や再編等も合わせて包括的に考える必要があると私は思うんですが、その辺については町長はいかがお考えでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 正に議員おっしゃるとおりだというふうに私も思っております。しかしながら、まずはですね、その学校の統合の有無についてですね、この会議の中でですね、しっかりとмонでいただいて、その結論をですね、しっかりと私らもそれを検証して前に進めていきたいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） 先走った質問だとは思いましたが、一応聞いてみました。やっぱり近くに五城目小学校というすばらしい例があるので、できれば是非そちらの方に関係者含めて視察に行っていいただければ大変いいなと思っております。

1問目の質問は以上です。

続いて2問目。

○議長（皆川鉄也君） はい、どうぞ。

○3番（奈良聡子さん） 先ほどの町長の答弁にもありましたように、昨年、峰浜地区の方で多頭飼いの崩壊という事例がありまして、動物基金の行政枠というのを県内初、八峰町が設けまして不妊手術を施してくれたと、それについては大変感謝しております。この多頭飼いの話って結構聞くんですね。多分いろんな地区で、あの人いっぱい飼ってるよっていう人がいると思うんですけども、やっぱりこの責任を持って飼えるその個体数というのは限度があると思うんです。また、答弁にもありましたように野良猫への安易な餌やり。これはもう近隣住民にとっては、もう迷惑な結果を招きかねないわけです。適切な飼い方や野良猫との接し続について啓発活動が必要ではないかと質問しようと思いましたが、必要だという答弁でしたので是非進めていただきたいと思います。

あとですね、この飼い主の飼育放棄によって野生化した猫が徘徊したり、鳴き声など、またこの糞尿の臭いや処理に追われまして猫を近づけない薬を買うなど、余計な手間や予定外の出費が生じているわけですね。この迷惑を被った住民の不満が高まっています。昨日もまた苦情の電話が来ましたが、啓発活動と併せて、この住民の不満を解消するためにも対策を早急に検討していただきたいと思います。まあ町の広報やホームページに

ですね、迷惑事例や、よくある問い合わせなど掲載するなど、この猫問題を見える化して町全体で情報共有すべきだと思いますが、この点についていかがお考えですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 正に議員おっしゃるとおりだと思っております。先ほど答弁でも申し上げましたけども、やはりホームページ、あるいはその広報誌等にですね、しっかりと掲載して、その見える化を図っていきなというふうに思っております。やっぱり何よりもですね、やはりその飼い主の責任というのがしっかりと明確にしなければいけないなというふうに思っておりますので、そういったところも含めて掲載して住民の啓発に取り組んでまいりたいと、そのように考えております。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） こういう問題が起きた場合にですね、近隣住民はその猫の忌避するための薬を買ったりとか、そういう出費があるわけですが、それについてはもう住民にかぶっていただくしかないということでしょうか。それとも、そういう問題が生じた場合には、町の方に相談してもらって、何らかのその、まあ財源の問題がありますけども、補助制度がありますとか、そういうことはお考えにはならないでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 厳しい財政状況というところもございますので、今この場ですぐに助成制度を創設するとかそういった答弁はできませんけれども、いずれにかほ市の方では去勢手術等に対する助成事業があるというふうな話も聞いておりますし、先日確か新聞報道にもあったと思います。いずれそういった薬の助成ではありませんでしたけれども、幅広くですね他の自治体等を参考にしながら今後のあり方について検討してまいりたい、そのように考えております。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） 是非検討していただいて、不幸な猫を出さないように頑張りたいと思います。

質問、以上で終わります。

○議長（皆川鉄也君） これで3番議員の一般質問を終了します。